



## 週間情報



No.0722

発行日 令和7年6月17日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

### 消防本部の動き

#### 訓練

#### ◆ 「令和7年度警防本部および署隊本部運用訓練」を実施

#### 岡崎市消防本部（愛知）

岡崎市消防本部では、令和7年5月23日（金）、30日（金）の2日間、「令和7年度警防本部および署隊本部運用訓練」を実施しました。

この訓練は、近年各地で多発する豪雨災害や今後、発生が危惧される南海トラフ巨大地震に対応するため、当消防本部の警防体制の在り方について、共通認識を図ることを目的として実施したものです。

訓練を通じて、災害時には、消防職員でも平常心を保つことが困難であることから、消防本部内の部署間連携や職員間のコミュニケーションを平常時から円滑にすることが、何よりの備えであることを再確認することができました。



【訓練の様子】

## ◆ 自衛隊と合同で消防車両輸送訓練を実施

### 鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

鳥取県東部広域行政管理組合消防局では、令和7年5月30日（金）、自衛隊と合同で、消防車両輸送訓練を実施しました。

この訓練は、大規模地震で孤立化した地域に対して、海路で緊急車両を輸送する手順を確認することを目的として、鳥取県が企画したものです。

当日は、鳥取港において、「大規模地震により県内で多数の道路被害が発生した。」との想定で、海上自衛隊のホバークラフト（エアクッション艇：LCAC）に消防車両を積載した後、海岸に揚陸したLCACから車両を下車させ、大規模災害発生時における他機関との連携手順などを確認しました。

今後も、他機関と連携した訓練を実施し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 水難救助訓練を実施

### 茨城西南広域消防本部（茨城）

茨城西南広域消防本部では、令和7年6月2日（月）、水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、今年度から配備された救助用ボートを災害現場において有効に活用することを目的として実施したものです。

当日は、救助用ボートの取扱い訓練を重点的に行ったほか、船舶免許保持者と潜水隊が連携して、車いすの要救助者に対する搬送手順や手技などを確認し、特性を踏まえた救助方法の検証を実施しました。

今年度は、平成27年9月関東・東北豪雨から10年の節目にあたり、訓練にまい進してまいります。



【訓練の様子】

## そ の 他

### ◆ 「体験型防災フェア」において広報活動を実施

#### 東京消防庁（東京）

東京消防庁世田谷消防署では、令和7年5月25日（日）、三軒茶屋ふれあい広場で開催された「体験型防災フェア」において広報活動を実施しました。

当日は、大雨の予報でしたが天気も回復し、東京消防庁マスコットキャラクター「キュータ」をはじめとする各団体のマスコットとのコラボレーションが実現する中で、当署が設置したブースでは、生成AIなどで作成された防災クイズ、車両見学、応急救護体験、防火衣着装体験などのコーナーを設け、たくさんの方々でにぎわいました。

また、梯子隊と救助隊による消防演習を行い、建物5階から座席懸垂で要救助者を救出した時には、茶沢通りで演習を見守る方々の歓声が響き、親子連れを中心に大盛況となりました。

今後も、地域の防災力の向上を図るとともに、地域の安全・安心の確保に努めてまいります。



【防災フェアの様子】

### ◆ 「危険物取扱者等会議」を開催

#### 土浦市消防本部（茨城）

土浦市消防本部では、令和7年5月27日（火）、危険物安全週間の一環として、クラフトシビックホール土浦において、「危険物取扱者等会議」を開催しました。

この会議は、危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を推進するとともに、各事業所における自主保安体制の確立を図ることを目的として開催したものです。

当日は、市内の危険物取扱事業所の関係者が参加し、危険物保安技術協会事故防止調査研修センターのセンター長である時岡氏を講師としてお招きし、「危険物施設における事故事例と安全対策」と題して、ご講演いただきました。

今後も、危険物取り扱いなどにおける安全の推進を図ってまいります。



【会議の様子】

## ◆ 高校生を「岸和田市学生消防サポーター」に任命

### 岸和田市消防本部（大阪）

岸和田市消防本部では、令和7年5月27日（火）、学校法人泉州学園近畿大学泉州高等学校の高校生44人を「岸和田市学生消防サポーター」に任命しました。

この試みは、市内の学校に在学している学生を消防サポーターに指名し、消防職員や消防団員とともに防火防災と応急手当の普及啓発活動を行うことで、将来の地域防災の担い手として育成するとともに、地域防災力の向上を図ることを目的として、令和7年度ゆめみヶ丘防災センターの開設に併せて、初めて任命したものです。

今後は、年間を通して、初期消火、救命救急、防災などについて学んでいただくとともに、消防サポーターの経験を生かしながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という自助・共助の意識を醸成し、地域防災の担い手になることを期待しています。



【任命式の様子】



【任命式後の記念撮影の様子】

## ◆ 住宅用火災警報器の普及啓発活動を実施

### 天草広域連合消防本部（熊本）

天草広域連合消防本部では、令和7年6月1日（日）、九州一斉住宅用火災警報器普及啓発キャンペーンの一環として、地区振興会が主催するイベント「ぐるっとウォーク」において、住宅用火災警報器の普及啓発活動を実施しました。

このイベントは、毎年多くの方が参加し、五和町二江地区約8キロメートルを歩きながら、チェックポイントで地元の海産物や総菜などが振舞われ、帰りは漁船に乗船し海の上から二江地区を楽しむことができます。

当日は、最終チェックポイントである乗船場において、乗船を待つ参加者に対し、住宅用火災警報器の設置に関する相談を行ったほか、リーフレットの配布やアンケート調査などを実施し、火災予防について呼びかけることができました。

今後も、地域と密着した消防として、さまざまな普及啓発活動を各機関と連携しながら計画・実施し、住民と観光客の安全・安心の確保に努めてまいります。



【普及啓発活動の様子】

### ◆ 特別教育「通信指令科（第1期）」を実施

#### 福井県消防学校（福井）

福井県消防学校では、令和7年5月27日（火）から29日（木）までの3日間、特別教育「通信指令科（第1期）」を実施しました。

この特別教育は、これまで、通信指令員に対して各消防本部における通信機器の取り扱い訓練にとどまっていたが、近年、通報件数が増加し、内容も複雑・高度化してきていることから、令和5・6年度は、半日の特別講座（講義）として開催し、今年度からは、正規教育として実施したものです。

期間中は、通信指令教育の第一人者であるフィルタス株式会社取締役の北小屋裕氏を講師としてお招きし、「救急対応・口頭指導」などについてご講義いただいたほか、模擬通報訓練や実災害を想定した図上訓練などを行いました。

受講生から、「他の消防本部の119番通報対応を見られる機会はないので、参考となりました。」「指令員は他所属との交流が少ないため、良い刺激になりました。」との感想を聞くことができました。

今後も、社会情勢の変化に対応できる人材育成を目指し、教育内容の充実に努めてまいります。



【模擬指令台の説明の様子】



【図上訓練の様子】

**消防庁通知等**

◆ **消防職団員の安全管理等（熱中症対策）の再徹底について**

**（消防消第177号、消防地第471号、令和7年5月28日）**

消防庁消防・救急課長、消防庁国民保護・防災部地域防災室長から各都道府県消防防災主管部（局）長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

消防職団員の安全管理（熱中症対策）については、各消防本部において運用されている安全管理マニュアル等に基づき、その徹底を図っていただいているところですが、夏季期間を中心に毎年のように熱中症に起因する事故が発生している状況にあります。

また、気象庁の発表によれば、今年の夏（6～8月）の平均気温は、全国的に高い見込みとなっていることから、より一層の対策が求められるところです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20250528\\_syoukyuu.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20250528_syoukyuu.pdf)) に掲載されています。

**【消防職員に関すること】**

消防庁消防・救急課

職員第一係 小川・能登

電 話：03-5253-7522

E-Mail：[shokuin@soumu.go.jp](mailto:shokuin@soumu.go.jp)

**【消防団員に関すること】**

消防庁国民保護・防災部地域防災室

消防団係 山下・青山・高橋・筒井

電 話：03-5253-7561 FAX：03-5253-7535

E-Mail：[syobodan@ml.soumu.go.jp](mailto:syobodan@ml.soumu.go.jp)

◆ **梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について**

**（中防消第5号、令和7年5月30日）**

中央防災会議石破茂会長（内閣総理大臣）から関係都道府県防災会議会長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

貴殿におかれては、日頃から各般の施策を通じて災害対策の推進に御尽力をいただいているところであり、感謝を申し上げます。

例年、梅雨期及び台風期においては、各地で局地的大雨や集中豪雨が観測され、河川の急な増水・氾濫、内水氾濫、がけ崩れ、土石流、地すべり、高潮、高波、竜巻等により、多数の人的被害及び住家被害が発生している。とりわけ近年は、平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨、令和3年7月1日からの大雨等、毎年のように大規模な風水害が発生しており、昨年も、梅雨前線による大雨、台風第5号、台風第10号等により、全国各地で土砂災害や浸水被害が発生した。—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/250530\\_bousai\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/250530_bousai_1.pdf)) に掲載されています

## ◆ 日勤救急隊の導入検討について

(消防救第195号、令和7年6月5日)

消防庁救急企画室長から各都道府県消防防災主管部(局)長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

「救急隊員の適正な労務管理の推進について(通知)」(平成30年3月30日付け消防救第56号 消防庁救急企画室長通知)等を踏まえ、適正な労務管理の推進のため、各消防本部(以下、本部という。)において、救急需要が多い時間帯に救急隊を増隊する取り組みが進められているところです。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20250605\\_kyuuki\\_01.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20250605_kyuuki_01.pdf))に掲載されています。

【連絡先】 消防庁救急企画室

寺村、金子、長谷、森、伊藤、的場、山名

TEL : 03-5253-7529 (直通)

## 報道発表

### ◆ 市区長を対象とした「全国防災・危機管理トップセミナー」の開催

(令和7年6月3日、消防庁)

災害時には、短期間のうちに膨大な業務に対応・処理することが求められ、首長はリーダーシップを十分発揮し、的確な災害危機対応を行う必要があります。

そのため、市区長の危機管理意識の一層の向上を図り、市区の災害対応力の向上等につながるよう、全国の市区長を対象とした「全国防災・危機管理トップセミナー」を開催します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/9281686b0bea9888af1a8617de7e4d5fabe7ec0a.pdf>)に掲載されています。

<連絡先>

消防庁国民保護・防災部防災課

星野対策官・小坂係長・武石事務官

Tel 03-5253-7525 (直通)

Mail [bousaikikaku@soumu.go.jp](mailto:bousaikikaku@soumu.go.jp) (取材希望送付先)

## 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

### ①トップ・セカンド記事

### ②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

### ③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、[kikakoho@fcj.gr.jp](mailto:kikakoho@fcj.gr.jp)に送信願います。

### ④消防ワイド

#### 【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

#### 【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 児嶋

原稿データは、[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)に送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

## 週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

#### 【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

#### 【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。  
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課 木原

原稿データは、[weekly@fcj.gr.jp](mailto:weekly@fcj.gr.jp)に送信願います。